



本牛窓音頭に合わせて、盆踊りが繰り広げられました

## にぎやかな踊りの輪広がる

### 牛窓出島公園で牛鬼まつり

牛窓の出島公園で 7月22日、牛鬼まつりが開かれました。「3世代で楽しめる夏の踊りを」と本牛窓音頭保存会が主催。「ドンとゆけ、ドンとゆけ」と本牛窓音頭に合わせ、にぎやかな踊りの輪が広がりました。恒例の踊りコンテストも行われ、浴衣や法

被姿の踊り手たちが次々に登場。手作りの牛鬼のお面をかぶった園児たちも踊りの輪に加わり、元氣いっばいに祭りを盛り上げました。最高賞の牛鬼大賞には、牛鬼に扮して息もぴったりの踊りを披露した「長浜西浦区牛鬼クラブ」チームが選ばれました。

## 繰り広げられた熱戦

### 邑久サッカーフェスティバル

邑久スポーツ公園で8月6日、第4回邑久サッカーフェスティバルが開催されました。生涯にわたりサッカーを楽しむ、年齢やチームの枠を超えた交流を行うことを目的に、邑久サッカークラブ連合が5年前から開催しているもので、今年も市内外から12チームが参加。ジュニア、社会人の部に分かれて、交流試合を行いました。炎天下の中、声を掛け合い、芝のグラウンドを駆け回る選手たち。汗だくになりながらも、懸命にボールを追いかけ、サッカーを楽しむ姿がそこにありました。



ゴール前で激しくボールを奪い合う選手たち

## 地域の魚や河川環境を調べてみよう

### 香登川で淡水魚地域学習会

長船町服部地区を流れる香登川で7月30日、淡水魚地域学習会が開催されました。生物観察を通じ、環境保護の意識を高くしようと、丸山子ども会や地域住民約20人が参加。参加者は網を持ち、川に入り、メダカ、タナゴ、スズマドジョウなどの淡水魚約20種類を採集しました。参加した三宅稔喜君（10歳・長船町服部）は、「川にいろいろな魚がいることが分かった。みんなで川を汚さないように心掛けたい」と話し、市内の豊かな生物について理解を深めていました。



川面を探り、魚を採る参加者

## らい予防法廃止10周年記念

### 邑久光明園・長島愛生園の納涼夏祭り

ハンセン病国立療養所邑久光明園で8月1日、らい予防法廃止10周年記念納涼夏祭りが開催され、詰め掛けの家族連れが入所者とともに祭りを楽しみました。特設ステージではカラオケ大会が開かれ、同園の看護師らが歌や踊りを次々に披露。一曲ごとに盛んな拍手が送られていました。

同長島愛生園でも8月3日、第31回納涼夏祭りを開催。大勢の皆さんが訪れ、祭りを楽しみました。同園看護部のよさこいソーラン踊り、看護学生のマツケンサンバなどが次々に披露され、訪れた皆さんは同園入所者・職員と交流を深めながら、楽しいひとときを過ごしていました。



ゆっくりと呼吸しながら、体を動かします

## 気血の循環が良くなる

### しあわせ気功教室

牛窓町総合福祉センターで7月20日、牛窓町公民館主催のしあわせ気功教室が開催されました。中国伝統医学気功セラピストの荒木愛子さん（55歳・牛窓町長浜）を講師に迎え、22人が参加。気功とは、中国古来の自己鍛錬法で、呼吸法と体操によって体内の気血の循環を良くし、病氣予防・健康維持を図るものです。荒木さんの掛け声に合わせて、呼吸と体の動きが一体化したようなゆっくりとした動きをする参加者の皆さん。体操を終えた皆さんは、気の流れがよくなり、すっきりとした表情をしていました。

## 行動範囲が広がった

### 盲導犬ユーザー第1号

平尾史法さん（52歳・邑久町虫明）が、瀬戸内市第1号の盲導犬のユーザーになりました。盲導犬の名前は、エアリー（2歳）。昨年11月から、目が不自由な平尾さんと一緒に生活しています。平尾さんは、自宅から職場まで約800メートルの距離を、エアリーの案内で一緒に歩いています。盲導犬はしっかりと訓練を受けていて、曲がり道、障害物、階段などを安全に歩行できるように、知らせます。「エアリーが来てからは、通勤が楽になり行動範囲が広がりました」と平尾さんは、うれしそうに話していました。



エアリーを抱擁する平尾さん

歌と踊りで祭りを盛り上げました(邑久光明園)

大勢の人が踊りに参加し、祭りを楽しみました(長島愛生園)

